年度 2008 年 後期	曜日・校時 木3	必修選択 必修	単位数 1
授業科目/(英語名)	英語コミュニケーション II English Communication II		
対象年次:1年次	講義形態 演習	教室	
対象学生(クラス等) M13		科目分類 外国語科目(英語)	

担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー
担当教員:村岡三奈子 /Eメールアドレス:muraoka@n-junshin.ac.jp /研究室:非常勤講師室 /TEL:846-0084
/オフィスアワー:授業後またはメールにて質問を受け付ける

担当教員(オムニバス科目等)	

授業のねらい/授業方法 (学習指導法) /授業到達目標

授業のねらい:現代社会が抱える様ざまな問題をトピックに、(1) 多角的な視点から論理的に思考し、(2) 自分の意見を表現する技能を段階的に養い、(3) 最終的に英語でディベートできるようになることを目標とする。

授業方法:原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的 vocabulary の習得、トピックの背景的知識を深める reading およびその summary、最後にトピックに対する賛否両論を分析する categorizing の順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。

授業到達目標:ある問題の肯定論・否定論を客観的に分析しながら、英語で意見を組み立て、伝達できること。授業の最終回に「ミニ・ディベート大会」でその成果を発表する。

授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)

授業内容(概要):テキストに従って、社会・文化・教育・国際関係等、幅広いテーマから、毎週1つずつトピックを選択し、問題演習を通して、総合的に英語の四技能を涵養する。

第1回 イントロダクション:Definition and significance of debate
第2回 Chapter 1:Format and procedures
第3回 Chapter 2:Suggestions for classroom debate
第4回 Chapter 3:Should college English education introduce debate in the curriculum?
第5回 Chapter 4:Should the school dress code be left up to individual students?
第6回 Chapter 5:Should Japan increase female leaders?
第7回 Chapter 6:Should Japan adopt daylight saving time?
第8回 Chapter 7:Should the civil code be revised to allow different surnames?
第9回 Chapter 8:Should Japan seek permanent status on the U.N. Security Council?
第10回 Chapter 9:Should the Japan-U.S. Security Treaty be abolished?
第11回 Chapter 10:Should primary schools introduce English into their curriculum?
第12回 プレゼンテーション準備 (1) Draft # 1
第13回 プレゼンテーション準備 (2) Draft # 2
第14回 プレゼンテーション
第15回 授業の総括(試験を含む)

キーワード	
教科書・教材・参考書	教科書:*Enjoy Debating* (EICHOSHA)
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況:10% 小テスト:20% プレゼンテーション:30% 筆記試験:40%
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ/学習・教育目標	
備考(準備学習等)	